



川の再生交流会 2023

令和5年2月11日(土)
埼玉会館

第1部 全体会

10:00~12:00

基調講演 <2頁>

「官民連携の川づくりで創出する魅力ある水辺空間」

東京大学 地域未来社会連携研究機構

北陸サテライト 特任助教 坂本 貴啓 氏

事例発表 <3頁~4頁>

「WITH RIVER これからも川とともに」

WITH RIVER 清水 勇多 氏

県の取組 <5頁~12頁>

「リバサポの取組状況」

埼玉県環境部水環境課

リバサポアワード <13頁~17頁>



第2部 テーマ別ポスターセッション 13:00~15:00

配置図 <19頁~22頁>

発表の概要 <23頁~26頁>



第1部 全体会

■登壇者紹介

坂本 貴啓氏〈基調講演〉

東京大学地域未来社会連携研究機構北陸サテライト特任助教。2017年3月筑波大学大学院システム情報工学研究科修了、博士（工学）。国立研究開発法人土木研究所水環境研究グループ自然共生研究センター 専門研究員を経て、2021年10月から現職。専門は河川工学、コミュニティデザイン。福岡県北九州市遠賀堀川プロジェクト及び長崎県東彼杵町の水辺からのまちおこしプロジェクトを実施、「川を活かしたまちづくり」に取り組んでいる。「人口減少社会における「いなかの川」の河川管理に関する調査研究」で平成29年度河川基金研究成果発表会優秀成果賞受賞（2017年5月）など。

清水 勇多氏〈事例発表〉

2020年10月に長瀬町に移住。長瀬町の地域おこし協力隊の一員として荒川の環境問題に取り組む「WITH RIVER」プロジェクトや中学生・高校生に川遊びを通じて川の問題を考える機会を提供する「Good for Local」プロジェクトなどを運営。「WITH RIVER」プロジェクトではゴミ問題の可視化を目的に荒川をSUP（スタンドアップパドルボード）で下るレース「ULTRA A47」※とタイアップし、リバークリーンを実施。「Good for Local」プロジェクトでは、令和4年度に23人に川遊びをプレゼントした。

※令和3年度名称は「ULTRA A80」、令和4年度名称は「ULTRA A47」

埼玉県水環境課〈県の取組〉

昨年度から埼玉県水環境課で取り組んでいる「SAITAMA リバーサポーターズプロジェクト」通称リバサポについての説明と、今年度の成果を報告する。

■リバサポアワード

みんなで選ぶ「リバサポ アワード」では、川の保全・共生に向けた活動の活性化に向け、川での優れた活動や川の魅力を伝える画像を県民の皆さんに選んでいただき、広く発信するものである。川の再生交流会では、活動部門の上位3団体の授賞式を行う。

基調講演：

「官民連携の川づくりで創出する魅力ある水辺空間」

東京大学地域未来社会連携研究機構

北陸サテライト特任助教先生 坂本 貴啓氏

講演資料については別紙参照

WITH RIVER

2020年にナガトロで誕生した WITH RIVER は、川のごみ拾いから始まりました。
定期的に観光名所やリバーサイドのごみ拾いを実施、
シーズン中は SUP やラフティングを使って川の上からもごみ拾いを実施しています。
ゴミのない美しい長瀬町の自然を楽しんでいただくために活動しています。



子供たちは新型コロナウイルス感染症で部活動や修学旅行など多くの行事を奪われました。
どこにも行けないなら地元の川で友達と遊んでほしいと思い企画を構築。
ナガトロのラフティング会社とゴミ拾いを含む各社オリジナルメニューを開発。
子供たちに地元の魅力や遊びを伝えながら川のゴミ問題や環境問題に触れていただきました。





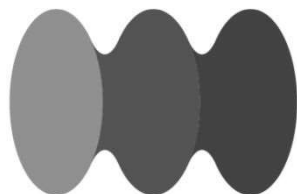
荒川を舞台に埼玉県を縦断する SUP レース「ULTRA A47」との同時開催。
 ラフティングボートと SUP にのり、川の上からリバークリーンを実施。
 リバークリーンには大会参加選手と長瀬で飲食店などを展開する事業者が参加しました。
 大会開催には SAITAMA リバーサポーターズが協力、
 集まったゴミの回収と処分には長瀬町役場が協力する官民が連携したリバークリーン活動です。



美しいローカルを未来へつなぐ
 WITH RIVER は次のステージへ

WITH RIVER

2023 SPRING



SAITAMA / リバーサポーターズ

SAITAMAリバーサポーターズプロジェクト
～未来への流れを、埼玉の川から～

埼玉県環境部水環境課



SAITAMAリバーサポーターズプロジェクトとは

埼玉の豊かな川を育む自発的な活動が、県民・団体・企業の連携のもとで持続して行われるように、県が支援していくR3に開始したプロジェクトです。

川との共生や川の魅力創出に向けた活動を活性化し、SDGsの実現を目指すのが、本プロジェクトの役割です。

これまでの経緯

平成20年度～

「川の国応援団※」制度開始

※川の再生活動を行っている2人以上で構成する団体

→県として活動資材の提供・貸出や「川の再生交流会」の開催により活動を支援

●川の国応援団数

250団体(H20) → 737団体(R3)

●アユの棲める水質の割合(BOD3mg/l以下の水質の割合)

59%(H19) → 90%(R2)

川の国応援団の皆様の活動に支えられ、水質改善が進みました！



しかし...

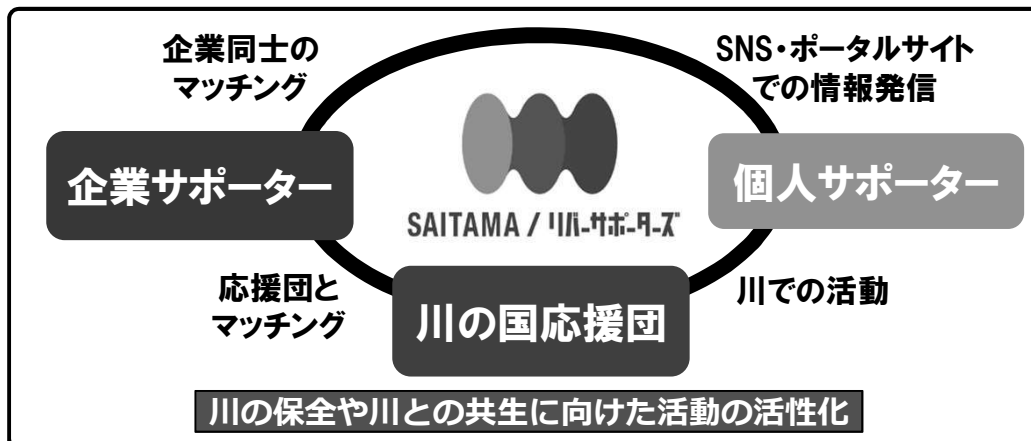
発足から10年以上が経過し、多くの団体からメンバーの高齢化や新しい人が入ってくれないという悩みを抱える声が聞こえるように。

SAITAMAリバーサポーターズプロジェクト開始

令和3年度～

将来的な川の保全活動の担い手確保につなげていくため、新規事業を開始。

個人の参加や企業との連携の促進、活動情報の発信により川の国応援団の活動を後押し。



リバサポの新しい取組

SNS・ポータルサイトでの情報発信

県民の方々にもっと川を好きになってもらうため、川に関する情報を集約・発信しています。

LINEでは、毎月1回、川の国応援団の御紹介もしています！

公式SNS



【SNS】
川の絶景スポット、お出かけ情報、川の国応援団紹介、イベント情報などの最新情報

公式ポータルサイト



【マガジン記事】
川図鑑、川の知恵袋、イベントレポート、カッコイイ写真の撮り方などの特集記事

リバサポの新しい取組

企業マッチング

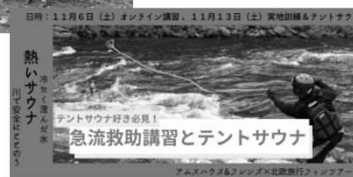
民間コーディネーターによるアドバイスやマッチング支援を行っています。

川の国応援団×企業×個人の連携により、活動が活性化することを目指しています。

川の国応援団と企業サポーターのマッチング



企業サポーター同士のマッチング



マッチング事例紹介

川の国応援団 企業サポーター
セイラビリティ越谷 × 明治安田生命保険（相）

川の国応援団の取組の趣旨に賛同し、
企業から車椅子利用者のためのヨット
乗降用リフトが寄贈された。



企業サポーター 企業サポーター
タテノイト × かねきのぶひろ
(ロックバランスングアーティスト)

子どもの学びの場を運営する団体と
アーティストをマッチングし、親子
向けのロックバランスング体験イ
ベントが開催された。



リバサポの新しい取組

リバサポ × ○○

これまで川に関心がなかった人たちに興味を持ってもらえるよう、普段何気なく川に来ている人たちに「川好き」になってもらう取組を始めました。

川に愛着を持ってもらい、「川にごみを捨てない」「活動のついでにごみがあったら拾う」という川に優しい行動につなげてもらうことを目指しています。

リバ犬 (リバサポ × 犬)



リバチャリ (リバサポ × 自転車)



リバサポの新しい取組

個人サポーター向けサポートデスクの設置

県の環境管理事務所や県営公園、民間の協力施設と連携し、個人サポーターに対してもごみ袋や軍手の提供、トングやリバチャリバッグの貸出を開始しました。



窓口でリバサポ公式SNSの登録画面を提示すると、事前予約不要で気軽に利用いただけます。

個人サポーター向けサポートデスク一覧

施設名	所在地
各環境管理事務所	さいたま市、川越市、東松山市、秩父市、熊谷市、越谷市、杉戸町
埼玉スタジアム2002公園	さいたま市
熊谷スポーツ文化公園	熊谷市
こども動物自然公園	東松山市
上尾運動公園	上尾市
戸田公園	戸田市
秋ヶ瀬公園	さいたま市
しらこぼと公園	越谷市
みさと公園	三郷市
所沢航空記念公園	所沢市
川越公園	川越市
羽生水郷公園	羽生市

個人サポーター向けサポートデスク一覧

施設名	所在地
加須はなさき公園	加須市
大宮第二・第三公園	さいたま市
久喜菖蒲公園	久喜市
さきたま緑道・花の里緑道	行田市
吉見総合運動公園	吉見町
権現堂公園	久喜市
和光樹林公園	和光市
森林公園緑道	滑川町
彩湖・道満グリーンパーク管理事務所	戸田市
コーダーブルームショップ東越谷店	越谷市
稲垣サイクル	戸田市

※サポート内容や受付時間は施設により異なります。
リバサポータルサイトで確認の上、御利用ください。

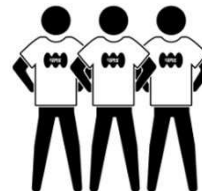
“リバーサポーター”になってください！

これから川での清掃活動や環境教育に取り組んでみたい方も、
川の国応援団として既に取り組んでいる方も、
是非リバサポ公式SNSをフォローして、サポーターになってください！

LINE 友だち追加



読み取ったら
「追加」ボタンを押してください。



“リバーサポーター”は埼玉の川を愛する方々のことです。
本日御参加の皆さんもリバサポの仲間です！

ちょっと御報告

リバサポ清掃部活動

リバサポの趣旨に賛同する企業の輪は徐々に広がっており、令和3年度にリバサポ事務局の声掛けで河川敷の清掃活動を企画した際には企業等から**総勢75名**がボランティアとして集まりました。

拾ったごみや刈り取った草など
合計530kgを回収！



プラチナ大賞 優秀賞 受賞

第10回プラチナ大賞に応募し、「優秀賞一川を活かしま賞一」を受賞しました。



いい川・いい川づくりワークショップ 入賞

第14回いい川・いい川づくりワークショップで発表し、「タテ割り行政もヨコ串でマッチングしたで賞を受賞」し、入賞しました。

終わりに

皆様へのお願い

- ①「他の団体や企業と一緒に川で何かやりたい！」という希望があればお寄せください！
- ②川に関する情報をお寄せください！
(隠れた見どころ、珍しい取組など、地元の方ならではの情報を教えてください。)
- ③川での素敵な写真が撮れたら御提供ください！
(リバサポの広報で使わせていただきたいと思います。)



終わりに

豊かな環境は県民の皆様に大切に利活用されることで
持続的に保全されていきます。

自発的な川との共生・保全活動がこれからも続いていく
ように県も支援していきます。



引き続きよろしく
お願いいたします！



埼玉県マスコット
コバトン&さいたまっち

夏休み川口水辺の楽校2022

荒川夢クラブ

川口水辺の楽校2022を、夏休み
の2022年7月29日、荒川
運動公園、京浜東北線鉄橋上流左岸
で、川口市公園緑地公社と荒川夢
クラブの連携により開催しました。

毎年の開催がコロナのため実施できま
せんでしたが、感染対策をとり3年ぶりに
実施し、小学4～6年生8名が参加
しました。

京浜東北線鉄橋近い樹林地には樹種
が多く、イヌザクラ、クヌギ、オニグルミ
スモの木などの樹種を確認し、間伐材
利用の木の名札を取り付ける体験活動
を行いました。

さらに、テラス型水辺護岸での透視度計
CODバックテストによる荒川の水質検査、
自然保護区（自然叢生地）での自然
観察も行いました。
自然豊かな夢ある川を次世代、未来
世代に受け継いでいけたらと願っています。



KEEP LOCAL BEAUTIFUL

長瀬のアウトドア事業者と協力し
長瀬町に住む中学・高校生を対象
に抽選で最大80名にラフティングなど
の川遊びをプレゼントする企画を実
施しました。

地元の魅力を知り体験すること、
遊ぶだけでなく川遊びの中でごみ拾
いする体験をプレゼントすることで
環境問題やゴミ問題にふれる機会
を子供たちに提供しました。

次の世代に地元の魅力を伝えること
美しい自然を残すことを目指し
WITH RIVERではKEEP LOCAL
BEAUTIFULというビジョンを掲げ活動
しています。

(※2022年 川遊びプレゼント実施人数
は23名)



WITH RIVER

みんなを選んで選ぶ 「リバサポアワード」



みんなを選んで選ぶ「リバサポアワード」では、川での優れた活動や川の魅力を伝える画像を
県民の皆さんに選んでいただき、広く発信します。今回が初めての開催です。

(1) 活動部門

県内で活動する団体、個人、事業者が令和3年4月から令和4年10月末までに行った、
特色があり、共感を呼び、川の共生・保全に貢献した県内の河川における活動で、応募のあった13件



(2) 魅力発信部門

リバサポポータル、SNSで発信した魅力を伝える画像のうち、アクセス数が多かったものから事務局が選定した10件



投票結果

【活動部門】受賞企業・団体

・明治安田生命保険相互会社 埼玉本部

・古郡建設株式会社

・春日部市カヌー協会

【魅力発信部門】

・長瀬渓谷

水辺の自然環境・景観の保全・維持

笹目川の環境を守る会



2005年12月に、河川の清掃等を継続的に実施することで、市街地の中の貴重な水辺環境を保全し、街づくりの推進に寄与することを目的に、活動を開始しました。

1990年から2000年に実施された多自然型の河川改修により貴重な自然環境が創出された笹目川の、環境・景観を保全、維持するため

- ①河川の清掃
- ②河川環境の調査研究
- ③環境保全の意識啓発活動等に取り組んでいます。

綾瀬川クリーン大作戦

NPO法人草加市カヌー協会 「草加パドラーズ」

平成26年12月1日、名勝「草加松原」の側に悪臭と不法投棄ゴミが浮遊するのは市民の恥であると考え、ワーストワンの綾瀬川の再生を目指し、2名がカヌーで浮遊ゴミ回収活動を開始しました。毎週水、土、日、祝日の午前中、年間150日の活動で、令和4年2月27日に活動回数1,000回、7月23日には参加人数9,000人を超え、この8年間のゴミの回収量は9月30日現在6,381袋(45ℓゴミ袋)。

1袋50cm高に換算すると北アルプス穂高岳3,193mを超えます。

河川美化活動だけでなく、松尾芭蕉杯カヌー大会の開催など水辺に親しむ活動にも力を入れ、誇れる故郷の川を目指し、142名老若男女87歳から5歳までの会員が、自覚と誇りを持って楽しく活動しています。



ラフティングリバークリーン

WITH RIVER



「WITH RIVER」プロジェクトが主体となり荒川のゴミ問題の可視化を目的として開催しているラフティングリバークリーン。今年10月に開催された荒川をSUPで下るダウンリバーレース「ULTRA A47」とタイアップし、今年もリバークリーンを実施しました。

去年は同イベントで200キロを超えるゴミを回収。普段からのリバークリーン活動の成果もあり、今年には約30キロのゴミを回収。確実に川のゴミが減っていることを実感しています。長瀬町の事業者や翌日にSUPレースを控える選手が参加したほか長瀬町役場もゴミの回収に協力するなど官民協力して川を美しくしました。

カヌーで大落古利根川のゴミを拾い 環境美化と川を生かした街づくり

春日部市カヌー協会

2017年春頃から当協会会長が個人的に春日部市の古利根川でカヌーの川下りを始め、川の両側の草むらにあるビニール袋に入ったゴミの多さを目にし川下りでゴミを拾うことを決意しました。その後同志とともに、2020年2月22日春日部市に関係者(県・市・会員・近隣カヌークラブ等)をお招きし、「春日部市カヌー協会」発会式を行い、発足しました。毎月第2・第4土曜日にカヌー艇庫(匠大塚春日部本店パークングビルF)に集合し、定例の川下り(ゴミ拾い兼)や地元のプロカヌー体験教室等を開催しています。今後は、地域の皆さんと共に組織の充実を図り、近隣のカヌークラブとも協力しながら、春日部市の川を生かした街づくりに貢献していきます。



リバーポアワード2022

「街&川 & 海ゴミゼロ」街巡りクリーン活動 「とめきちお掃除隊」

株式会社ナックプランニング



「とめきちお掃除隊」は、株式会社ナックプランニングとNPO法人共同生活推進協議会が協働で行う地域貢献事業です。

海と日本プロジェクトの一環として、犬の犬さん「とめきち」がお掃除隊長となり、NPO法人・企業・地域団体・高校の部活動・大学のサークル活動が協働で、多世代のボランティアとともに、街巡りしながら戸田市で荒川土手の清掃活動などを実施しています。

2020年の活動開始から、参加人数の合計は1000人を超えました（2022年11月現在）。地域のコミュニティを繋ぎ、街と川の魅力を発信しながら、清掃活動を実施することで街づくりに貢献することをめざすプロジェクトです。

みんなで育てよう元気な子供たち！ きれいな川、きれいな環境

吹上清流の会

毎月第二土曜に吹上元荒川の清掃活動をしています。

5月から11月はカヌーボートを浮かべて水上清掃、三ツ木堰が開放され水位が低くなる10月から4月は、川の中に入り水底のごみ拾いも行っています。

40年前は、泳ぎ遊べる川だったと年配の方からお話を聞きます。

近隣住民を癒してくれる、草木・水鳥・亀などを守り、未来の子供たちにきれいな川を残されればと思います。



川で楽しくSDGsプロセスに参加できる、 スウェーデン発の新しいフィットネス、 ゴミ拾い+ジョギングの「Plogging」（プロギング）

古郡建設株式会社

2021年から、毎年度6月、10月、2月と年3回開催しています。

地域環境向上、健康増進、参加者のコミュニケーション活性化を目的に、2021年6月5日の世界環境デーに合わせ第1回を開催。第4回以降開催からは他企業や一般にも参加を呼びかけ、様々なステークホルダーと関係を構築し、県内外に活動を広げていければと考え、展開しています。Ploggingはスウェーデン語の「拾う」という意味の“Plocka Upp（プロッカウップ）”と「ジョギング」Jogging（ヨギング）の2つの言葉を組み合わせた造語。

唐沢川や福川を6km走るジョギングコースと、体力に自信のない方には3kmのウォーキングコースを設定。



リバサポアワード2022

里川保全活動 つり体験教室 川にはどんな生き物があるの？ つりを体験して身近な自然を学んでみよう

公益財団法人本庄早稲田国際リサーチパーク

当活動は、2008年から（公財）本庄早稲田国際リサーチパークが地域企業・団体、行政機関等と連携して、JR本庄早稲田駅前を流れる男堀川（おとこぼりがわ）に親しんでいただくことを目的に開催しています。開催当初はたも網をつかって生き物調査を行っていましたが、2021年から日本釣振興会の協力を得て「つり体験教室」に内容を変更しました。

教室では、親子10組が、川沿いのゴミ拾い清掃を行なった後、つりを体験します。終了後は、つった魚の集計と専門家による講義で身近な環境の生態を学びます。

五感を使って川を体験し、生息環境を守っていくことの大切さを知る機会となっています。



黒目川における環境調査

立教新座高等学校 生物部



立教新座高等学校生物部は、自然豊かなキャンパス内での生物観察や生態分析を主な活動としています。
 2012年度からは、環境調査の一環として立教新座キャンパス周辺を流れる黒目川での調査を行っています。
 黒目川は荒川水系の新河岸川の支流で毎月、新河岸川との合流地点から約4kmの中流域にある朝霞市溝沼の東林橋周辺で調査しています。
 主な調査内容はパックテストによる水質調査と投網などを用いた生物採集で、採集した生物の飼育も活動の一環としています。しかし、近年は川に混在するゴミが目立つようになってきたため、本活動ではゴミの回収の記録、分析も積極的に行っています。

埼玉の川の魅力を発信するイベント 「みんなであらう埼玉の川『知るリバ』」の開催

株式会社武蔵野銀行



武蔵野銀行本店 2階地域創生スペース「M's SQUARE」で、夏休みの子どもを対象に、埼玉の川の魅力を発信するイベント「みんなであらう埼玉の川『知るリバ』」を開催しました。
 県水環境課からカヤック等を借り受けたほか、県立川の博物館や環境国際科学センターから川にまつわる展示品を借り受け、大宮のビル街に埼玉の川を知って、遊んで、感じられる空間を創り出しました。
 7/21～31の10日間に県内在住の親子連れなどが来場し、カヤックに乗って写真を撮ったり、巨大カエルの模型を観賞したり展示や体験を楽しんでもらい、多くの県民が埼玉の川に興味を持つきっかけとなるイベントとなりました。

リバサポアワード2022

① 川に楽しく遊ぶ「リバー」の楽しみ方を探そう
 川に楽しく遊ぶ「リバー」の楽しみ方を探そう
 主催：川辺地区公民館（川辺地区公民館）

② 川を渡る楽しさを伝える
 川を渡る楽しさを伝える
 主催：川辺地区公民館（川辺地区公民館）

③ 川を渡る楽しさを伝える
 川を渡る楽しさを伝える
 主催：川辺地区公民館（川辺地区公民館）

④ 川を渡る楽しさを伝える
 川を渡る楽しさを伝える
 主催：川辺地区公民館（川辺地区公民館）

⑤ 川を渡る楽しさを伝える
 川を渡る楽しさを伝える
 主催：川辺地区公民館（川辺地区公民館）

⑥ 川を渡る楽しさを伝える
 川を渡る楽しさを伝える
 主催：川辺地区公民館（川辺地区公民館）

⑦ 川を渡る楽しさを伝える
 川を渡る楽しさを伝える
 主催：川辺地区公民館（川辺地区公民館）

⑧ 川を渡る楽しさを伝える
 川を渡る楽しさを伝える
 主催：川辺地区公民館（川辺地区公民館）

⑨ 川を渡る楽しさを伝える
 川を渡る楽しさを伝える
 主催：川辺地区公民館（川辺地区公民館）

⑩ 川を渡る楽しさを伝える
 川を渡る楽しさを伝える
 主催：川辺地区公民館（川辺地区公民館）

⑪ 川を渡る楽しさを伝える
 川を渡る楽しさを伝える
 主催：川辺地区公民館（川辺地区公民館）

⑫ 川を渡る楽しさを伝える
 川を渡る楽しさを伝える
 主催：川辺地区公民館（川辺地区公民館）

⑬ 川を渡る楽しさを伝える
 川を渡る楽しさを伝える
 主催：川辺地区公民館（川辺地区公民館）

地域社会との「つながり」と川との「共生」

明治安田生命保険相互会社 埼玉本部

2021年10月に「NPO法人セイラビリティ越谷」のノーマライゼーションの実現に対する想いに共感し、協議の結果、障がいをお持ちの方でも安全・安心に小型ヨットに乗ることが可能となるリフトを贈呈しました。
 贈呈式後、セイラビリティ越谷と「親子向けの小型ヨット体験イベント」を、2022年11月時点で4回開催しています。
 また、子ども連を対象に生き物に触れる機会を創出するため、「小物釣り体験」や川辺の清掃活動を行っています。
 水辺は地域住民の方々にとって、「豊かな自然体験・交流の場」となり得る存在であると思います。環境の保全・保護だけでなく地域の「発展」と「つながり」、川との「共生」に貢献できるようなこれからの活動していきます。

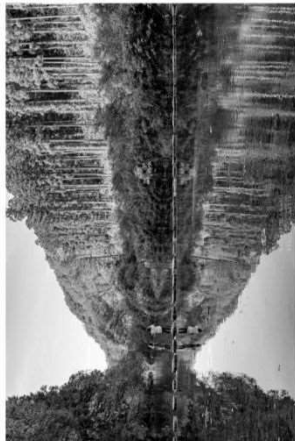


リバサポアワード2022

魅力発信部門



⑥ 三波渓谷（ときがわ町）
提供：Yuji Shibasaki



⑧ 嵐山渓谷（嵐山町）
提供：Yuji Shibasaki



⑩ 巾着田（日高市）
提供：日高市



埼玉県マスコット「コバトン」



⑦ 長瀬渓谷（長瀬町）
提供：Yuji Shibasaki



⑨ ウォーターパークシラヤマ（横瀬町）
提供：横瀬町

魅力発信部門



① 新河岸川（川越市）
提供：Yuji Shibasaki



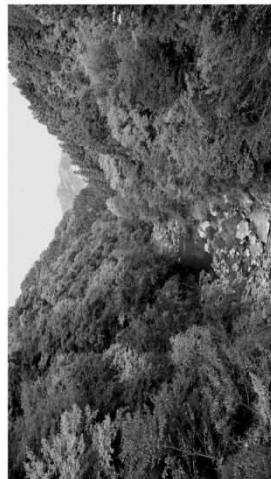
③ 古利根川流灯まつり（杉戸町）



⑤ 三十礎の氷柱（秩父市）
提供：Yuji Shibasaki



② 千年の苑ラベンダー園（嵐山町）
提供：Yuji Shibasaki



④ 三波石峡（神川町）
提供：神川町



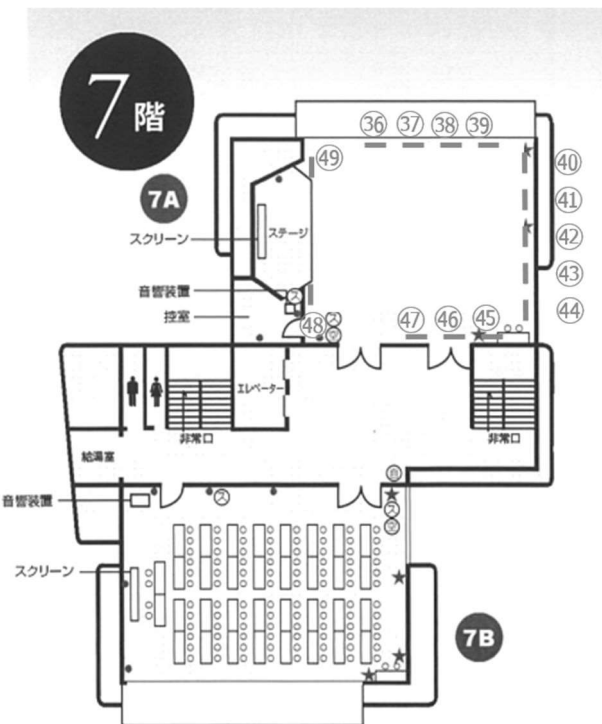
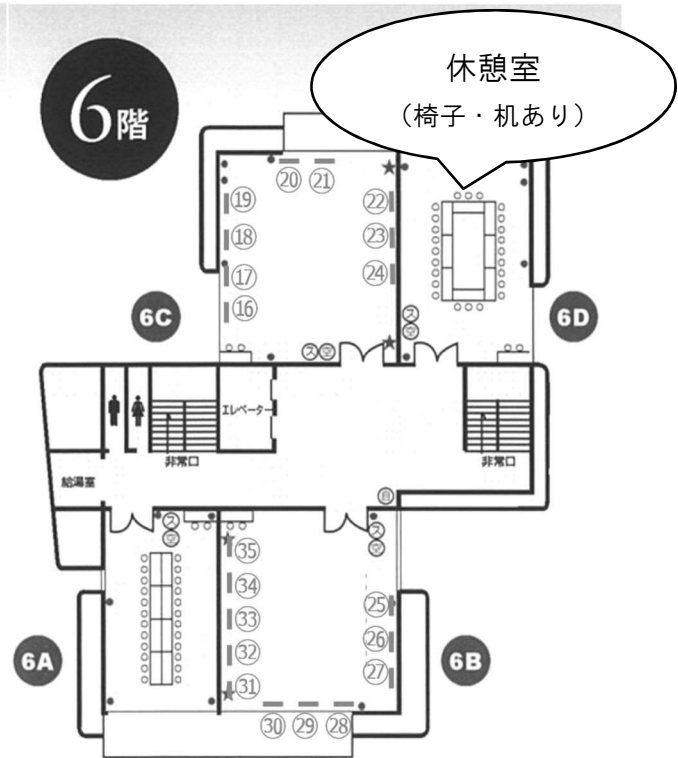
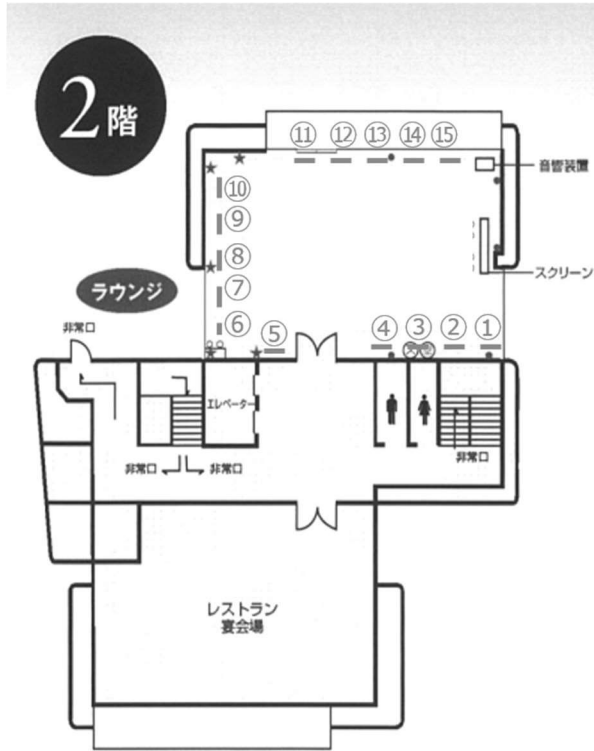
埼玉県マスコット「コバトン」

MEMO

第2部 ポスターセッション

■発表団体：川で活動・研究する 47 団体・学校・企業・自治体（重複あり）

■会場配置



【ポスターセッション注意事項】

- 下記発表時間中にはポスターの前に発表者がおり、皆様の御質問等に対応します。
- 発表時間 ※15分交代です。
 - ・グループ 1
13:00~13:15, 13:30~13:45, 14:00~14:15, 14:30~14:45
 - ・グループ 2
13:15~13:30, 13:45~14:00, 14:15~14:30, 14:45~15:00
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、会場の人数が多くなっている時には、事務局からお声がけをさせていただく場合がございます。その際には御協力をお願い申し上げます。
- チラシやポスターからポスターセッションの発表内容等変更になっている箇所がございます。

■発表団体一覧

《No 順》

No.	グループ	発表団体
①	-	リバサポアワードとは？
②	-	活動部門(荒川夢クラブ, WITH RIVER)
③	-	活動部門(WITH RIVER, 春日部市カヌー協会)
④	-	活動部門(笹目川の環境を守る会, NPO 法人草加市カヌー協会「草加パドラーズ」)
⑤	-	活動部門(株式会社ナックプランニング, 吹上清流の会)
⑥	-	活動部門(古郡建設株式会社, 公益財団法人本庄早稲田国際リサーチパーク)
⑦	-	活動部門(株式会社武蔵野銀行, 明治安田生命保険相互会社 埼玉県本部)
⑧	-	活動部門(立教新座高等学校 生物部)
⑨	-	魅力発信部門
⑩	-	埼玉県水環境課(リバサポ)
⑪	1	草加パドラーズ
⑫	2	越谷ふるさとプロジェクト
⑬	1	千葉工業大学生命科学科分子生態工学研究室
⑭	2	栄東中学・高等学校 理科研究部
⑮	1	熊谷の環境を考える連絡協議会
⑯	1	千葉工業大学生命科学科分子生態工学研究室
⑰	2	香川大学創造工学部吉田研究室
⑱	1	千葉工業大学文化会環境科学研究会
⑲	2	獨協大学 Mゼミ
⑳	1	合成洗剤をやめていのちと自然を守る埼玉連絡会
㉑	2	獨協埼玉中学高等学校サイエンス部水質班
㉒	1	獨協大学米山ゼミ 伝右川再生に向けた支援プロジェクトチーム
㉓	2	埼玉県環境科学国際センター、(公財)日本環境整備教育センター、東北大学
㉔	1	埼玉県環境科学国際センター
㉕	1	わくわく新河岸川みどりの会
㉖	2	吹上清流の会
㉗	1	比企自然学校
㉘	2	綾瀬川を愛する会
㉙	1	ナックプランニング
㉚	2	埼玉県河川環境課
㉛	1	川のお兄さん with 立正大学有志
㉜	2	埼玉県土地水政策課

No.	グループ	発表団体
③③	1	埼玉県公園スタジアム課
③④	2	埼玉県(水環境課、埼玉県環境科学国際センター)
③⑤	1	「川の日」ワークショップ関東大会実行委員会
③⑥	1	戸田の川を考える会
③⑦	2	荒川クリーンエイド・フォーラム
③⑧	1	荒川夢クラブ
③⑨	2	上谷沼周辺の自然を守る会
④⑩	1	笹目川の環境を守る会
④⑪	1	浦和実業学園中学校・高等学校生物部
④⑫	2	久喜北陽高等学校理科部
④⑬	1	忍川の自然に親しむ会
④⑭	2	元荒川の自然を守る会
④⑮	1	越谷北高等学校生物部
④⑯	2	川の博物館
④⑰	1	埼玉県水環境課、環境科学国際センター

《五十音順》

No.	グループ	発表団体
①	—	リバサポアワードとは？
②	—	活動部門(荒川夢クラブ, WITH RIVER)
③	—	活動部門(WITH RIVER, 春日部市カヌー協会)
④	—	活動部門(笹目川の環境を守る会, NPO 法人草加市カヌー協会「草加パドラーズ」)
⑤	—	活動部門(株式会社ナックプランニング, 吹上清流の会)
⑥	—	活動部門(古郡建設株式会社, 公益財団法人本庄早稲田国際リサーチパーク)
⑦	—	活動部門(株式会社武蔵野銀行, 明治安田生命保険相互会社 埼玉県本部)
⑧	—	活動部門(立教新座高等学校 生物部)
⑨	—	魅力発信部門
⑳	2	綾瀬川を愛する会
③⑦	2	荒川クリーンエイド・フォーラム
③⑧	1	荒川夢クラブ
③⑤	1	「川の日」ワークショップ関東大会実行委員会
④⑪	1	浦和実業学園中学校・高等学校生物部
④⑬	1	忍川の自然に親しむ会
①⑰	2	香川大学創造工学部吉田研究室
③⑨	2	上谷沼周辺の自然を守る会
③⑱	1	川のお兄さん with 立正大学有志

No.	グループ	発表団体
④⑥	2	川の博物館
④②	2	久喜北陽高等学校理科部
①⑤	1	熊谷の環境を考える連絡協議会
②⑩	1	合成洗剤をやめていのちと自然を守る埼玉連絡会
④⑤	1	越谷北高等学校生物部
①②	2	越谷ふるさとプロジェクト
③⑩	2	埼玉県河川環境課
②④	1	埼玉県環境科学国際センター
②③	2	埼玉県環境科学国際センター、(公財)日本環境整備教育センター、東北大学
③③	1	埼玉県公園スタジアム課
③②	2	埼玉県土地水政策課
①⑩	—	埼玉県水環境課
③④	2	埼玉県(水環境課、埼玉県環境科学国際センター)
④⑦	1	埼玉県水環境課、環境科学国際センター
①④	2	栄東中学・高等学校 理科学研究部
④⑩	1	笹目川の環境を守る会
①①	1	草加パドラーズ
①③	1	千葉工業大学生命科学科分子生態工学研究室
①⑥	1	千葉工業大学生命科学科分子生態工学研究室
①⑧	1	千葉工業大学文化会環境科学研究会
③⑥	1	戸田の川を考える会
②①	2	獨協埼玉中学高等学校サイエンス部水質班
①⑨	2	獨協大学 Mゼミ
②②	1	獨協大学米山ゼミ 伝右川再生に向けた支援プロジェクトチーム
②⑨	1	ナックプランニング
②⑦	1	比企自然学校
②⑥	2	吹上清流の会
④④	2	元荒川の自然を守る会
②⑤	1	わくわく新河岸川みどりの会

■発表の概要

NO	テーマ	掲示する 会議室名	グルー プ	主な活動 エリア	団体名	ポスターのタイトル	発表者氏名
11	川ゴミ	ラウンジ (2階)	1	県東	草加パドラーズ	綾瀬川クリーン大作戦	木村 高明 古田 富士雄 井坂 次男 相原 峻人
12	川ゴミ	ラウンジ (2階)	2	県東	越谷ふるさとプロジェクト	レイクタウンで水辺の調査と工作	三澤 善道
13	川ゴミ	ラウンジ (2階)	1	県外	千葉工業大学生命科学科分子生態 工学研究室	荒川下流域に位置する小松川自然地 におけるヤマトシジミのマイクロプラス チック摂食	坂口 遼馬
14	川ゴミ	ラウンジ (2階)	2	県南	栄東中学・高等学校 理科研究部	埼玉県芝川における水質・清掃活動・ マイクロプラスチックの調査・研究	豊岡 楽生 岩崎 章太 宇野澤 すみれ
15	川ゴミ	ラウンジ (2階)	1	県北	熊谷の環境を考える連絡協議会	熊谷市内河川におけるマイクロプラス チック分析調査	江原 仁
16	水質改善	6C会議室 (6階)	1	県外	千葉工業大学生命科学科分子生態 工学研究室	房総半島における生物指標による河 川環境評価マップの作成	中村 凜梨
17	水質改善	6C会議室 (6階)	2	県外	香川大学創造工学部吉田研究室	食関連廃棄物を利用した重金属等の 無害化	吉田 秀典
18	水質改善	6C会議室 (6階)	1	県外	千葉工業大学文化会環境科学研究 会	西印旛沼における水質調査結果の報 告	田中 緑 須藤 剣 石島 琢翔
19	水質改善	6C会議室 (6階)	2	県南	獨協大学 Mゼミ	伝右川の水質調査報告—河川の汚濁 と微小生物との関係性について—	鈴木タ夏 谷山 航
20	水質改善	6C会議室 (6階)	1	全県	合成洗剤をやめていのちと自然を守る 埼玉連絡会	今こそ、石けんの出番です	入江 映子
21	水質改善	6C会議室 (6階)	2	県東	獨協埼玉中学高等学校サイエンス 部水質班	新方川(にいがたがわ)の水質調査	池田向輝 坂元心 千葉太陽 吉田蓮
22	水質改善	6C会議室 (6階)	1	県南	獨協大学米山ゼミ 伝右川再生に向 けた支援プロジェクトチーム	伝右川再生に向けてできること	朝桐 颯大 島田 隼人 菅野 琴音
23	水質改善	6C会議室 (6階)	2	全県	埼玉県環境科学国際センター、(公 財)日本環境整備教育センター、東 北大学	浄化槽を対象としたプロジェクト研究の 紹介	見島 伊織
24	水質改善	6C会議室 (6階)	1	全県	埼玉県環境科学国際センター	埼玉県環境科学国際センターの活動 紹介	見島 伊織
25	歴史・文化を活 かした川づくり ／豊かな水辺 空間づくり	6B会議室 (6階)	1	県南	わくわく新河岸川みどりの会	黒目川下流域の癒しの場づくり	山本 長志郎
26	歴史・文化を活 かした川づくり ／豊かな水辺 空間づくり	6B会議室 (6階)	2	県北	吹上清流の会	水鳥が喜び、蛍が舞う元荒川にした い!	間 加奈子
27	歴史・文化を活 かした川づくり ／豊かな水辺 空間づくり	6B会議室 (6階)	1	県西	比企自然学校	比企自然学校の活動紹介	桜井 行雄
28	歴史・文化を活 かした川づくり ／豊かな水辺 空間づくり	6B会議室 (6階)	2	県南	綾瀬川を愛する会	素足遊歩道シンポジウム	山本 一治
29	歴史・文化を活 かした川づくり ／豊かな水辺 空間づくり	6B会議室 (6階)	1	県南	ナックプランニング	みんなで荒川美化とめきちお掃除隊	平井 まゆみ

ポスターの概要
<p>①河川の美化活動カヌーや救助艇で毎週水、土、日、祝日の年間150回河川の美化活動を実施。 ②カヌーなどのスポーツ文化の普及春のこどもフェスタ、夏休みカヌー教室、松尾芭蕉杯カヌー大会を実施し、カヌーのメッカをつくりあげている。 ③みんなで協力して、安全で素敵な街をつくる草加市自主水防団を発足し、毎月末に人命救助、緊急物資輸送訓練を実施。利根川決壊を想定し救助艇を6艇用意。大洪水に備えている。</p>
<p>SDGsの理解を促進するために、越谷市内の小学生を対象として、夏休み期間に、大相模調節池での水質調査(透視度・COD・マイクロプラスチック)とマイクロプラスチックゴミを使った万華鏡の作成をしました。</p>
<p>荒川下流域に位置する小松川自然地(感潮域、河口干潟、東京都江戸川区)において、二枚貝のヤマトシジミのマイクロプラスチック摂食について調査した。</p>
<p>理科学研究部では、埼玉県芝川の水質調査・清掃活動調査を継続して行っている。今年度から新たにマイクロプラスチックも研究の対象としている。現況の把握をし、最終的に芝川の環境を良くすることを目標とする。</p>
<p>くまかんれんでは、これまで河川の水質調査、ごみ拾い、生き物調べ等の活動を行ってきた。 2021年度に、熊谷市内の3河川(和田吉野川、忍川、福川)において、河川水中のマイクロプラスチックの調査を実施したので、その結果について発表する。</p>
<p>房総半島を流下する河川について継続的に調査を行い、BOD(有機物)、付着珪藻(生産者)、底生動物(消費者)から水質を評価し、河川環境マップを作成した。</p>
<p>当研究室では、2011年より食品関連廃棄物を再資源化して有害物質を無害化する材料を開発しており、魚骨を再資源化した吸着材による重金属の吸着と廃シロップを用いた六価クロムの無害化について発表する。</p>
<p>千葉工業大学環境科学研究会では、環境保全の啓発を目的に西印旛沼を活動拠点として水質調査を行っている。ポスターでは西印旛沼の水質の経年変化などからどういった傾向がみられるのかについて発表する。</p>
<p>獨協大学Mゼミでは、大学に隣接する伝右川の水質について、河川汚濁の化学的特性と微小生物(バクテリアや植物プランクトン)との関係性に着目した定期調査と分析を継続しており、その研究成果について発表する。</p>
<p>当連絡会は1984年結成以来、環境にも人体にも優しい石鹼の使用を推進しています。 ポスターの1枚目は石けんの良さを伝えるもの ポスターの2枚目は香害を取り上げました</p>
<p>学校のそばを流れる新方川の水質を調査している。今年度は透視度と濁度の地理的变化を発表する。</p>
<p>獨協大学米山ゼミ「伝右川再生に向けた支援プロジェクト」チームは定期的に活動を行っている獨協大学にもっともなじみ深い伝右川を地域住民が自然と触れ合う憩いの場とするため、近隣住民への提案を行う。</p>
<p>環境省の環境研究総合推進費課題として「汚泥濃縮車を活用した浄化槽汚泥の収集・運搬・処理過程における環境負荷削減効果の網羅的解析および最適活用方法の提案」と題した共同研究を進めています。本研究の内容について紹介いたします。</p>
<p>埼玉県環境科学国際センターは、学習施設と研究所が一体となった環境科学の中核機関です。当センターの環境学習に関する講座やイベントの紹介、水環境に関する調査研究事例の紹介を行います。</p>
<p>当団体は平成20年の設立以来、黒目川下流から新河岸川までの景観維持活動を行なっている。人が立ち入れない荒廃とした場所から多くの人が訪れる自然豊かな広場になった。15年間の歩みと活動状況を紹介する。</p>
<p>未来ある子供たちと一緒に楽しみながら、地元の元荒川の生き物や草木を守っていききたい。</p>
<p>比企自然学校は活動ドメインの一つとして「川の学校」を運営しています。コロナ禍でイベント開催がままならない状況の中、自分達で楽しむカナディアンカヌーを作り、リバーサポ活動等の幅を広げています。</p>
<p>綾瀬川は高度成長期に工場の排水や生ごみ、粗大物に埋まり、第一級河川汚濁全国ワーストワンが10年連続。その時にこの会を立ち上げ、川の清掃から始まり、川口綾瀬の森を創り、昨年からは自然と健康を結びつける素足遊歩道を創りました。素足遊歩道(アーシングロード)の意義について説明します。</p>
<p>NPO法人共同生活推進協議会、一般ボランティアさんと荒川の美化活動を目指し活動しています。みんなで楽しく気軽に参加できるように着ぐるみ「とめきち」をリーダーに毎回100人以上の参加があります。</p>

■発表の概要

NO	テーマ	掲示する 会議室名	グルー プ	主な活動 エリア	団体名	ポスターのタイトル	発表者氏名
30	歴史・文化を活 かした川づくり ／豊かな水辺 空間づくり	6B会議室 (6階)	2	全県	埼玉県河川環境課	①とことん活用プロジェクトについて ②水辺でカンパIVIRTUAL ミズベリ ングについて	郡司 柚香
31	歴史・文化を活 かした川づくり ／豊かな水辺 空間づくり	6B会議室 (6階)	1	県北	川のお兄さんwith立正大学有志	川のお兄さんと地域で悪だくみ！～熊 谷 川イノベーション～	小林 知輝
32	歴史・文化を活 かした川づくり ／豊かな水辺 空間づくり	6B会議室 (6階)	2	全県	埼玉県土地水政策課	水源地域との交流事業(上下流交流事 業)について	齋藤 裕之
33	歴史・文化を活 かした川づくり ／豊かな水辺 空間づくり	6B会議室 (6階)	1	県南	埼玉県公園スタジアム課	池の水すべて抜く！「大宮公園大掻掘 まつり」～これがGOALじゃないSTAR Tだ！～	勅使川原 将吾
34	歴史・文化を活 かした川づくり ／豊かな水辺 空間づくり	6B会議室 (6階)	2	全県	埼玉県(水環境課、埼玉県環境科学 国際センター)	これまでの湧水調査の結果概要と今 後の調査	柿本 貴志
35	歴史・文化を活 かした川づくり ／豊かな水辺 空間づくり	6B会議室 (6階)	1	県外	「川の日」ワークショップ関東大会実 行委員会	川仲間になろう！第15回「川の日」ワ ークショップ関東大会 参加募集！	小林 一己
36	川と防災	7A会議室 (7階)	1	県南	戸田の川を考える会	戸田の治水と水防、市民の役割	大石 昌男
37	川と防災	7A会議室 (7階)	2	全県	特定非営利活動法人荒川クリーン エイド・フォーラム	「コロナ下の荒川クリーンエイド埼玉会 場」	林 美恵子
38	水辺の生 物	7A会議室 (7階)	1	県南	荒川夢クラブ	「コロナ下の子供たちの川の体験活 動」	林 美恵子
39	水辺の生 物	7A会議室 (7階)	2	県南	上谷沼周辺の自然を守る会	上谷沼いきものわくわく	未定
40	水辺の生 物	7A会議室 (7階)	1	県南	笹目川の環境を守る会	笹目川の生きもの	渡部 郷
41	水辺の生 物	7A会議室 (7階)	1	全県	浦和実業学園中学校・高等学校生 物部	カラドジョウはドジョウを絶滅に追い やるのか？	橋本 悟
42	水辺の生 物	7A会議室 (7階)	2	県東	久喜北陽高等学校理科部	タニシによる水質改善能力の調査と学 校周辺用水路の生き物について	藤田 秀真 田島 秀哉
43	水辺の生 物	7A会議室 (7階)	1	県北	忍川の自然に親しむ会	忍川の自然に親しむ会の活動につい て	田口 修
44	水辺の生 物	7A会議室 (7階)	2	県東	元荒川の自然を守る会	元荒川の自然を守る会の活動を紹介 する 特に、フジバカマ公園でのフジバカマ の育成、元荒川ののり面でのウマノ ズクサの保護、管理活動	古窪 敏行
45	水辺の生 物	7A会議室 (7階)	1	県東	越谷北高等学校生物部	越谷北高校生物部活動報告	野口 佑太郎
46	水辺の生 物	7A会議室 (7階)	2	県西	川の博物館	埼玉県における国内外来種ヌマガエル Fejervarya kawamuraiの分布拡大	藤田 宏之
47	水辺の生 物	7A会議室 (7階)	1	全県	埼玉県水環境課、環境科学国際セ ンター	水生生物の新しい調査方法～環境 DNA調査～	堀切 文裕

ポスターの概要
<p>①平成23年の国の規制緩和に伴い、埼玉県では平成25年から、官民連携により、地域の観光資源や都市部の貴重なオープンスペースとして河川敷地を利活用する「河川空間のオープン化」を進めています。</p> <p>②埼玉バーチャル観光大使である春日部つくしさんのご協力のもと、VRChatに越谷レイクタウンを再現し、全国で初めてバーチャル空間上での水辺で乾杯を開催しました。</p>
<p>①個人活動家小林知輝の活動について npo法人全国水環境交流会が主催する「いい川・いい川づくりワークショップ」の熊谷開催について</p> <p>②立正大学研究推進・地域連携センターの活動について 熊谷市、滑川町に多く点在する谷津沼を使った谷津沼農業の保全と沼を中心とした農村水文化の復活。谷津沼をテーマに募集された芸術祭「ヌマタイズ」について</p> <p>③立正大学地球にやさしい会の活動について 熊谷市荒川河川敷におけるスカベンジャー活動について</p>
<p>埼玉県では水の供給源が少ないことから、県内のみならず県外に水源を確保している。水源の確保またその維持にあたっては、地域に多大な負担を強いることからその地域に対する理解が不可欠である。そのため、水の恩恵を受けている下流地域の県民が水源地域を訪れ、ダム施設を見学するとともに水源地域の方々と協同でダム湖周辺の清掃活動を行ったり、スポーツ交流を通じて、親睦を深めていただきたくともに、改めて水の大切さや水源地域の現状や問題等の理解を高めていただくことを目的とした「上下流交流事業」を行っている。</p>
<p>大宮公園舟遊池の環境改善と賑わい創出に向けて、埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム「埼玉の豊かな水とみどりを育む」分科会に設置した検討部会で企画・検討実施した、県民・企業の参加による「大宮公園大掻掘まつり」の様子を紹介する。</p>
<p>水環境課では平成3年度、平成15・16年度、平成25年度から令和2年度までの3期間にわたり湧水調査を行ってきた。本発表では調査結果と今後の取組みを述べ、水源としての湧水保全にも注目・協力をお願いする。</p>
<p>15回目を迎える「川の日」ワークショップ関東大会は、川や水辺の活動に取り組む多様な世代、立場の人々の情報共有と、流域や地域を越えた交流、とくに若い世代の発表の機会、応援する場として開催しています。募集により、川や池沼、里山、用水、田んぼ、水循環など多様な領域、テーマの取り組みの発表があります。日頃の活動を発表したい、知恵や力を共有したい、応援したい、仲間をつくりたい…皆でつくる大会です。ぜひ、ご参加ください！</p>
<p>戸田村～戸田町～戸田市 五大事業のあらし・ポスター展示・五大事業のあらし A3 250ページの冊子の展示</p>
<p>荒川クリーンエイドは毎年、秩父市から東京湾西葛西まで100か所以上の会場、1万5千人以上の参加者で実施されている。コロナ下、中止や見送りの会場もあり、埼玉県内の各会場も感染対策に留意しつつ、実施を探っている状況を紹介する。</p>
<p>2000年の荒川を通した大滝村っ子と川口っ子の交流事業を契機に、荒川夢クラブが設立され、地域、子供たちや学校に還元できたと活動している。コロナ下、2022年に3年ぶりで実施できた小中学生対象の体験活動を紹介する。</p>
<p>上谷沼調節池は、治水の役割だけでなく、歴史もあり生きもののみならず、外来植物抜きや生きもの調査を行い、その魅力を子どもたちに伝え、ともに生きものの上谷沼の湿地を広げ、守りたい。</p>
<p>笹目川の清掃活動、水質・生態系調査などを行ない、水辺の環境保全に取り組んでいる。笹目川の生きもの調べ、カワセミなど野鳥の生態について展示する。</p>
<p>ドジョウは、準絶滅危惧種に指定されている。理由の一つが、外来種カラドジョウによる影響であるとされている。そのため浦和実業学園生物部では、県内のドジョウの生息状況を把握するため、各地での調査を行った。</p>
<p>捕獲した水生生物の1種であるヒメタニシによる水質改善能力の調査の途中経過を発表する。中落堀川に繋がる、学校近くの用水路と鷲宮駅付近の青毛堀川の水質調査、及び捕獲した水生生物を紹介する。</p>
<p>忍川の自然に親しむ会の活動について</p>
<p>①元荒川の自然を守る会は、荒れかかっていたフジバカマ公園の草取りなどを2018年から開始し、市の協力も得て、昨年秋にフジバカマの開花を実現した。</p> <p>②2017年、川の土手にウマノスズクサが多く自生していることを発見。それ以来、育成のための活動を実施している。</p>
<p>越谷北高校生物部は、生物飼育、フィールド調査、複数校の生物部と合同で外来生物の研究をするグループ「チームアライグマ」への参加など、様々な活動をしています。越谷北高校生物部の活動について紹介します。</p>
<p>ヌマガエルはおもに水田でみられる国内外来種で、県内では1990年代終わりごろ生息が確認されたことを皮切りに、県東部・南部の平野へと分布が広がった。近年も分布拡大が続き、荒川水系流域まで飛び的に拡大した。本報告では2020年から2022年まで県西部である人間地方の水田などで調査をおこない、結果分布がさらに拡大していることを示す。</p>
<p>魚類等の生息状況調査について、1L程度の水から、生息する生物の種類や対象生物の存在がわかる環境DNA分析技術が近年発展している。これらの分析技術による埼玉県内河川の水生生物の分布状況について発表する。</p>



リバサポ公式SNSをフォローして
リバーサポーターになろう！

LINE 友だち追加



読み取ったら
「追加」ボタンを押してください。



Facebook



Twitter



Instagram



【問合せ先】

埼玉県環境部水環境課 浄化槽・豊かな川づくり担当
048-830-3088 / a3070-13@pref.saitama.lg.jp